３．和歌山県への
新しい「人の流れ」を創造する

◆新規　◇拡充　◇継続　・金額単位のないものは千円単位
・（　　）内は昨年度当初予算額

暮らしやすさに磨きをかけ、転出者と同程度の転入者を呼び込むことをめざす

【総合戦略目標】直近５か年の転出超過累計数を今後５か年で半減させる

和歌山で暮らす

徹底した「移住者目線」のアプローチと移住者に寄り添ったサポートで、若年、現役世代の移住を総合的に支援

◇移住・定住大作戦　110,910【27補正 91,740】（27,538）P30
- 豊かな自然に恵まれた和歌山ならではの移住・定住メニューを提案し、きめ細やかなアプローチとサポートを実施
- 最大２５０万円の移住奨励金をはじめ、「くらし」「しごと」「住まい」の支援を継続

◆空き家対策の推進　12,342（-）
（「５．時代に合った地域をつくる」に詳細記載 P63）
信頼できる借上制度を活用する場合、空き家を新たに耐震化の補助対象とするなど中古住宅の利活用を促進

和歌山で働く

企業の育成・誘致による安定的な雇用の創出を行うとともに、奨学金や就職情報の提供により高校生、大学生の県内就職を促進

◇和歌山への企業誘致　2,006,080（1,876,897）
あやの台北部用地の開発など工場用地の確保を進めるとともに、企業団体の研修会や開発合宿「ハッカソン」を誘致し、「和歌山を体験」してもらうことで、ICT企業の和歌山進出を促進

◆地元企業への就職促進　1,585（-）P32
地元就職の魅力を伝えるため、職業系専門学科等で学ぶ高校生を対象に地元企業での長期就業体験を実施

◇産業を支える人づくりプロジェクト 16,905【27補正 17,454】（34,809）
企業と高校が連携した人材育成の取組と応募前サマー企業ガイダンスの開催により、高校生の県内就職を促進するとともに、県外に進学した大学生等のUIターン就職を促進

◆若手中核人材の確保　〈再掲〉P16
製造業・IT産業の企業が優秀な理工系・情報系人材を確保できるよう、学生が借り入れた奨学金の返還金を助成する制度を企業と協働で創設

◆家庭における仕事と育児の両立　【27補正 4,839】（-）〈再掲〉P7
事業者とのマッチング等によりクラウドソーシングを利用した在宅就労（テレワーク）を促進

◆和歌山県大学生等進学給付金　24,257（-）〈再掲〉P11
進学意欲と学力が高いにもかかわらず、経済的な理由により大学等への進学が困難な学生を支援するため、４年間で総額２４０万円の給付金制度を創設

◆保育士資格修学資金貸付　565,000（-）〈再掲〉P7
保育士資格の取得や離職保育士の再就職を支援する返済免除付き貸付制度を創設

◆介護福祉士修学資金等貸付　237,799（-）
（「４．安全・安心な暮らしを実現する」に詳細記載 P51）
介護福祉士資格の取得や離職介護職員の再就職を支援する返済免除付き貸付制度を創設

和歌山で学ぶ

若者の流出防止と県内就職促進のため、技能を習得でき、卒業後の県内定着も期待できる高等教育機関を充実

◆県立医科大学への薬学部新設準備・看護大学の誘致　11,290（-）P33
県立医科大学薬学部の平成33年度開学を目指し、基本設計等に着手

◆新生 農林大学校（仮称）　14,548（-）〈再掲〉P20
既存の和歌山県農業大学校を改革し、農業経営に関する学科を追加するとともに、林業に関する即戦力育成・スキルアップを目的とする研修部を新設

移住･定住大作戦

平成28年度　　　：110,910千円
平成27年度補正：　91,740千円
（　27,538千円）

豊かな自然に恵まれた和歌山ならではの移住・定住メニューを提案し、
きめ細かなアプローチとサポートを実施

■スタート（相談会など）

・**紀伊半島３県（和歌山・奈良・三重）合同移住促進セミナー**を首都圏で開催
・東京・大阪・和歌山に常設のワンストップ窓口で、**移住希望者のニーズを徹底的にヒアリング**
　→**「移住者カルテ」**（仮称）を作成し、DM等を活用して必要な情報をタイムリーに**個別提供**

■アプローチ（現地体験会～移住前）

・**農家や漁家の仕事や暮らしが実体験できる現地体験会**の開催
・**「子育て」「婚活」などテーマを決めた現地体験会**の開催
・現地体験会において**先輩移住者やワンストップパーソンとの交流**を実施

海の「わかやま暮らし」
海産物加工、漁家民泊、ダイビング・サーフィン等のレジャー業
（串本町、すさみ町など）

山の「わかやま暮らし」
みかん・梅の収穫、山仕事、農家民泊、製炭、古道語り部、パン屋
（田辺市、高野町など）

川の「わかやま暮らし」
観光いかだ、カヌー・ラフティング等のレジャー業
（古座川町、北山村など）

■サポート（移住後）

・ワンストップパーソンが**定期的に戸別訪問**し、希望や悩みの相談を受け、解決

全国トップクラスの移住者定住率（約７０%）を誇る和歌山県

「くらし」「しごと」「住まい」の支援を継続し移住者を強力にサポート

■ 「くらし」の支援

・若年移住者の負担軽減のため、
最大２５０万円の移住奨励金を交付

■ 「しごと」の支援

・移住者の**起業支援（最大１００万円）**
・**農林水産就業への支援（最大５０万円）**

■ 「住まい」の支援

・**県統一版の「空き家バンク」**による空き家情報の提供
・**空き家の家財道具撤去費**の助成**（最大１０万円）**
・**空き家改修**の補助**（最大８０万円）**

教育委員会　県立学校教育課［3681］

地元企業への就職促進

平成28年度：1,585千円
（新規）

地元就職の魅力を伝えるため、**職業系専門学科**（*）**等で学ぶ高校生**を対象に
地元企業での長期就業体験を実施

＊工業科、商業科、農業科、看護科、家庭科

【課題】　若者の早期離職率が高く、地域産業への理解が不十分

〔県内高校生の就職率　77.5%、高卒３年以内の離職率　44.5%（H26調査　H23.3卒）〕

早期から地域産業と働き方の理解を深めることが重要！！

中学校	**職業系専門学科、企業の紹介冊子**の作成
高校１年生	**短期就業体験**による職業研究
高校２年生	**複数の事業所で働き方を学ぶ**職場研究
高校３年生	希望する企業での**長期就業体験**

地元企業への就職率を向上

福祉保健部　医務課［2084］

県立医科大学への薬学部新設準備・看護大学の誘致

平成28年度：11,290千円
（新規）

和歌山県立医科大学薬学部を新設するための調査等に着手

薬学部概要

〔学　　科〕 ６年制の薬学科（薬剤師国家試験の受験資格）
〔定　　員〕 収容定員６００人（入学定員１００人）
〔設置場所〕 伏虎中学校跡地を活用
〔開学時期〕 **平成３３年４月予定**

<スケジュール（予定）>

H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
調査・設計 →		建物建設 →			開学